

平成 25 年（2013 年）8 月の沖縄周辺海域の海面水温について

沖縄周辺海域では、広い範囲で海面水温が 30℃^(注) 以上となっています。8 月いっぱい、30℃を超える海域がみられる見込みです。

(注) 沖縄の南の海域の 8 月上旬の海面水温の平年値は 29.3℃。外洋の海面水温はおおむね 31℃が上限。

沖縄周辺海域では、8 月に入って海面水温が 30℃を超える海域が拡大しました。8 月 9 日以降は、北緯 23 度付近から沖縄諸島近海にかけての広い海域で 31℃以上となるなど、海面水温がかなり高い状態が続いています(図 1)。31℃は、外洋の海水温としては、おおむね上限と考えられます。

沖縄の南の海域(図 2a の青枠)では 8 月上旬の平均海面水温は 30.3℃(平年は 29.3℃)となり、1985 年以降*の 8 月上旬でもっとも海面水温の高かった 1998 年と同程度の海面水温となっています(図 2b)。1998 年は、大規模なサンゴの白化現象が確認されました。サンゴ白化の原因の一つとして、サンゴ内部の褐虫藻が海水温 30℃以上で色素を失うことが知られています**。

沖縄周辺海域では、この時期は年間でもっとも海面水温が高い時期にあたり、さらに今年は太平洋高気圧に覆われる日が続き、平年より日射量が多く風が弱かったため、海面水温が上昇しました。

8 月末にかけて、海面水温がかなり高い状態が続く見込みです。最新の実況データ・予報(次回の予報は 8 月 20 日発表)をご確認ください。

気象庁ホームページの「海洋の健康診断表」では、海水温、海流の状況や 1 か月予報を公表しています。本件に関して沖縄気象台が「臨時診断」を公表しています。引き続き最新の実況データ等を提供していきますので、あわせてご利用ください。

○「海洋の健康診断表」

<http://www.data.kishou.go.jp/kaiyou/shindan/index.html>

*船舶による海洋観測に加え、人工衛星によるリモートセンシング資料が利用可能となった 1985 年以降の海面水温に基づき算出しています。なお、本発表の海面水温は速報値であるため、後日修正されることがあります。

**気候変動の観測・予測及び影響評価統合レポート「日本の気候変動とその影響」(2012 年度版、2013 年 3 月 文部科学省 気象庁 環境省) より。

本件に関する問い合わせ先:

沖縄気象台 地球環境・海洋担当 電話 098-833-4065

気象庁 地球環境・海洋部 海洋気象情報室 電話 03-3212-8341(内線 5127)

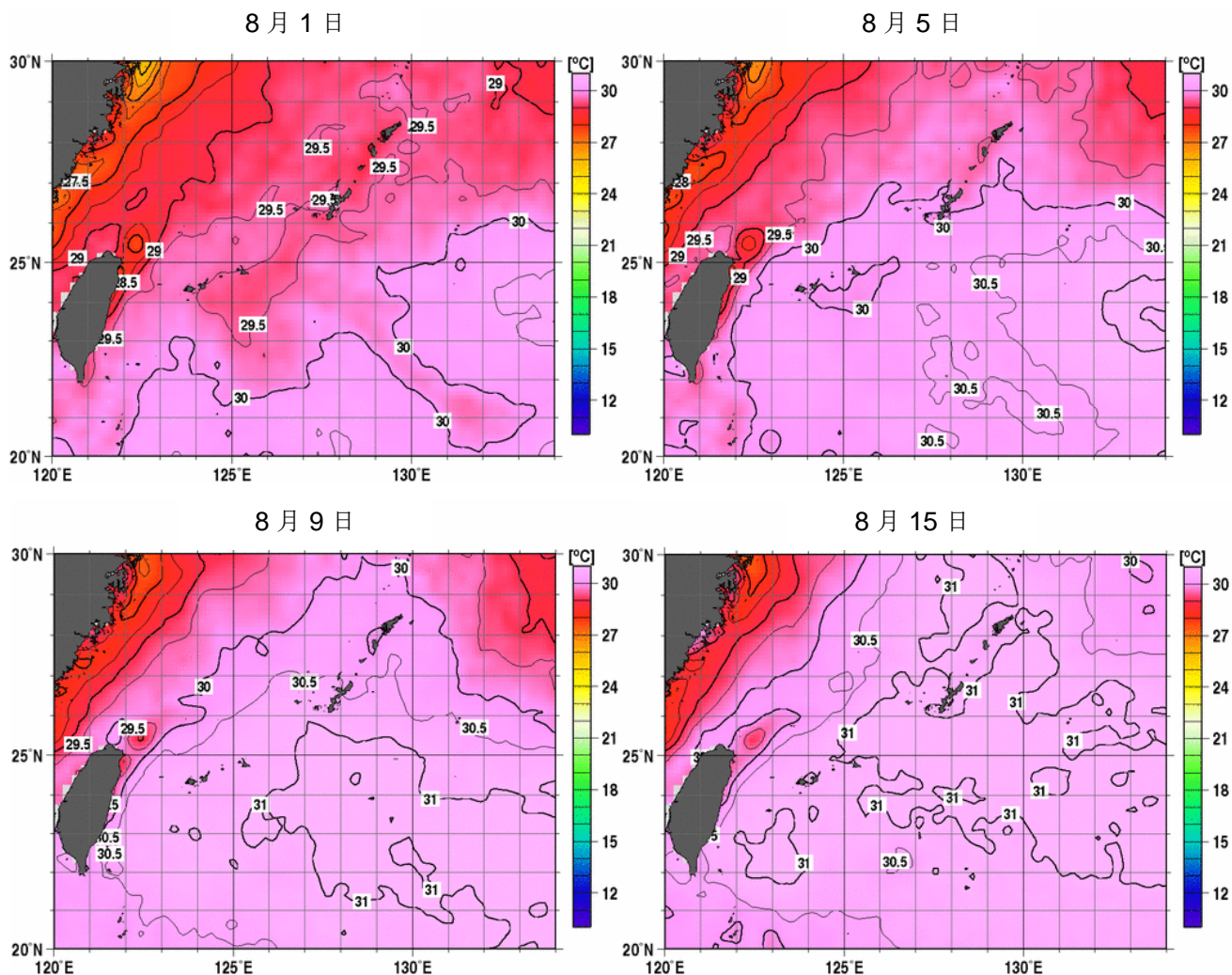


図1 沖縄周辺海域の海面水温分布図

- 8月1日：北緯25度以南の東経130度以東、及び北緯22度以南の東経122度から130度にかけて、海面水温が概ね30°C以上となった。
- 8月5日：北緯26度（沖縄諸島近海）以南のほとんどの海域で海面水温が30°C以上となった。
- 8月9日：北緯23度付近を中心に東経125度から135度にかけて、海面水温が31°C以上の海域がみられるようになった。
- 8月15日：沖縄諸島近海から北緯23度付近にかけて、海面水温が31°C以上の海域が広がった。

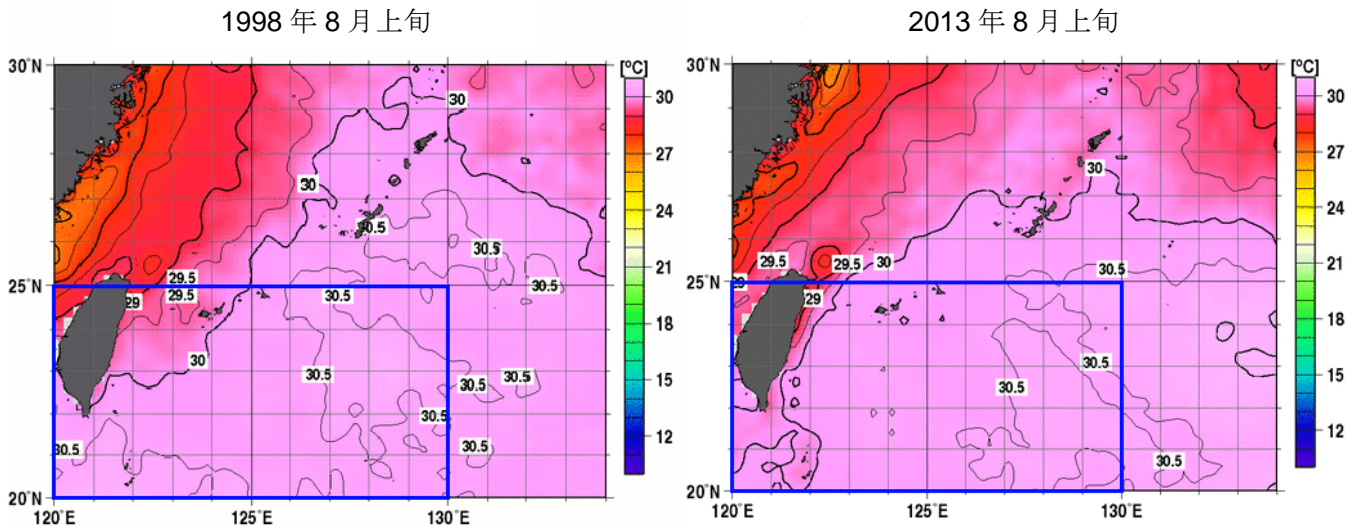


図 2a 8月上旬の旬平均海面水温分布図 (左 : 1998 年 右 : 2013 年)

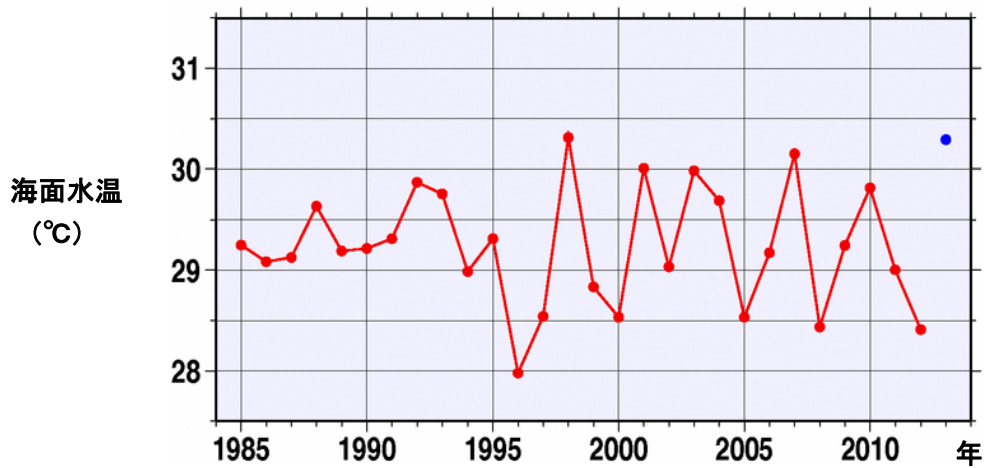
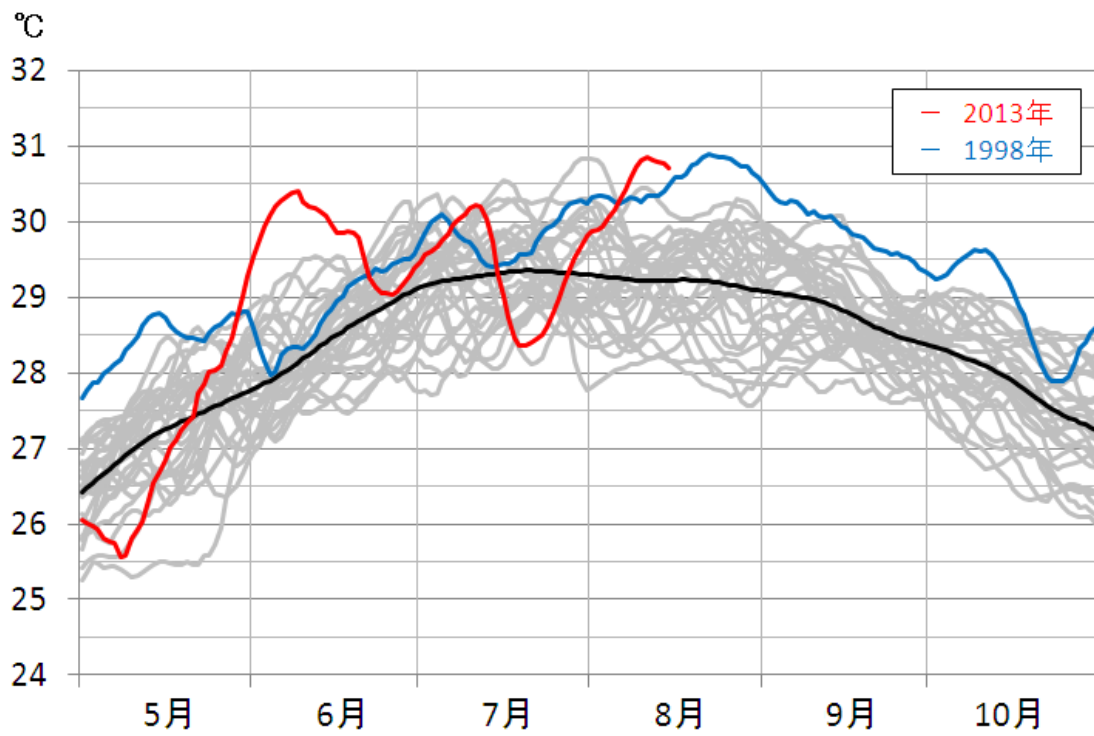


図 2b 沖縄の南における 8月上旬の旬平均海面水温の時系列

青丸は速報値である事を表しています。

沖縄の南の海域(図 2a の青枠)では 8月上旬の平均海面水温は 30.3°Cとなり、1985 年以降の 8月上旬でもっとも海面水温の高かった 1998 年と同程度の海面水温となっています (図 2b)。

(参考) 沖縄の南における日別海面水温時系列



黒い線は平年値(1981年から2010年)、
灰色の線は2013年と1998年以外の各年(1985年以降)を示しています。